



Michigan Newsletter

May 2026

No.20

ミシガン州経済交流駐在員

草の根交流

1. 50年目の節目、滋賀県ミシガン州友好親善使節団

ページ 1～2

教育交流

1. ミシガンから見たミシガン州立大学
連合日本センター

ページ 2

ミシガントピック

1. 2026年ミシガン州知事選動向
マイク・ダガン氏が撤退
 2. ミシガン州立大学ガスカウィッツ学長が
退任
- ページ 3～5

草の根交流

1. 50年目の節目、滋賀県ミシガン州友好親善使節団

滋賀県は、ミシガン州と1968年に湖の縁で姉妹提携を結び、1976年にはホームステイを通じて互いの文化や生活を知り、理解を深めることを目的に市民レベルの友好親善使節団の派遣をスタートさせました。

偶数年は滋賀県からミシガン州へ、奇数年はミシガン州から滋賀県へ、コロナ禍の中止等はありませんでしたが、団員の相互派遣を続け、今年でなんと50年目を迎えます。



11月のミシガンは日本よりも寒いですが、紅葉の美しさは格別。

アメリカ ミシガン州でのホームステイが体験できる！
第24回 滋賀県ミシガン州友好親善使節団 団員募集

今年8月(2026年)11月12日(木)～19日(木) 8日間
アメリカ合衆国ミシガン州内のホームステイ(4泊5日)

募集定員 40名
お申込み費 約500,000円(送料・手配)

応募期間: 令和5年(2023年)6月1日(月)～7月15日(水)
申込方法: しがネット受付サービス(オンライン申込)

奇数年となる昨年7月には、ミシガン州から30名の団員が滋賀県内の姉妹都市等に滞在し、それぞれのホストファミリーと滋賀県を満喫しました。偶数年となる今年は、滋賀県の団員がミシガン州を訪問する予定です。11月12日～19日の期間で、40名の団員を募集中です。団員というと特別に聞こえますが、18歳以上の滋賀県民であれば、誰でも応募することができます。

メインとなるのは姉妹都市等でのホームステイ。家族の一員としてホストファミリーと体験した日常の時間がかけがえのない一番の思い出になった、たくさんの人たちと関わり人生が変わった、観光旅行ではできない貴重な体験だった、とい

った感想を参加者からいただいています。

さらに、観光旅行と一味違うのは、自分の住む市町の代表としてミシガン州の姉妹都市の市役所等を訪問することです。受け入れるミシガン側にとって、滋賀県の姉妹都市から団員がはるばる自分の町に来ていることは大きなインパクトを持ちます。一人の団員の訪問をきっかけに、市担当者が姉妹都市活動の重要性を再認識してくださることも多く、改めて市民の持つ力に気づかされます。



両県州民同士が顔合わせて、友情を深めるこの特別な体験。興味を持たれた方はぜひ県国際課ホームページをご覧ください。

[友好親善使節団の相互派遣について | 滋賀県ホームページ](#)

教育交流

1. ミシガンから見たミシガン州立大学連合日本センター

5月21日、州都ランシングで行われたミシガン州立大学連合日本センター(以下「JCMU」)のコンソーシアム会議に出席しました。JCMUはミシガン州内の15の州立大学で構成されており、コンソーシアム会議はこの15大学の代表者が集まり、JCMUの運営状況のチェックおよび活動方針について議論する場です。

会議の主な議題となったのは、ミシガン州から留学する学生のカリキュラムの変更や拡充、今後の施設管理等についてです。



JCMU 担当者から、財政面やプログラムの充実において滋賀県から引き続きサポートがあることが各大学担当者に伝えられました。

この会議には、従来から駐在員も出席しており、活動報告として、11月に実施予定の滋賀県からミシガンへの友好親善使節団の派遣を中心に、滋賀県とミシガン州との姉妹交流の状況について共有しました。

ミシガンと滋賀の姉妹交流、そして滋賀県の継続したサポートが大きな力となり、JCMU がミシガン側の大学関係者や学生にとって特別な場所として認識されていることを改めて実感しました。

ミシガンピック

1 2026年ミシガン州知事選動向 マイク・ダガン氏が撤退を表明

ミシガン州知事は任期4年、再選は1回までとなっており、2022年から2期目を務めている現職のホイットマー州知事は2026年に任期満了を迎えます。後継者を決める2026年11月3日の本選挙に向け、8月4日には、主要政党候補を決める予備選挙が実施される予定です。

複数の候補者が選挙戦を繰り広げる中、無所属での出馬を表明していた前デトロイト市長マイク・ダガン氏が、5月21日に選挙戦からの撤退を表明しました。2024年12月、これまでのキャリアを通じて民主党員だったダガン氏が、対立の中にある両党でなく、問題を実際に解決できる候補でありたいと、無所属での出馬を発表したことは驚きをもって受け止められていました。

ダガン氏は、支持者へのメッセージの中で、撤退の理由として、イラン戦争に端を発するガソリン価格上昇への激しい反発により、民主党への支持が上昇している国政レベルの政治情勢の変化、さらに、無所属ゆえに民主党・共和党のような全国規模の強固な資金源が得られなかった点を挙げました。

報道によると、ダガン氏の撤退は民主党にとって追い風になるとの見解が多数ですが、民主党支持者よりも、むしろ共和党支持者がダガン氏支持に流れていたとの指摘もあり、判断するのは時期尚早、という声もあります。

5月21日時点で、9名が立候補しており、そのうち民主党、共和党からの主たる候補は以下の通りです。

【民主党】

- ・ジョスリン・ベンソン氏(ミシガン州務長官)
- ・クリス・スワンソン氏(州内ジェネシー郡保安官)
- ・キム・トーマス氏 米国国防総省で20年間勤務歴

【共和党】

- ・マイク・コックス氏(元ミシガン州司法長官)
- ・ジョン・ジェームズ氏 (共和党下院議員)
- ・ペリー・ジョンソン氏 (実業家)

ホイットマー州知事が州知事の任期満了後の将来については、2028年の大統領選出馬の可能性に関する憶測を昨年から呼んでいましたが、州知事はここ数ヶ月間、明言を避け、慎重な回答に終始していました。

しかし、5月29日、ミシガン州で毎年開催される政策会議「マキナック・ポリシー・カンファレンス」の期間中に、

「大統領選には多くの有力候補が出馬すると思います。しかし、2028年にその一人として私が名を連ねることはありません」とホイットマー州知事は発言され、注目を集めました。

大統領選への出馬の可能性をめぐる憶測に終止符を打った、と報道するメディアもある一方、その他の発言等を鑑みるとまだその可能性は排除されていない、と報道するメディアもあります。

いずれにしろ、ホイットマー州知事は、こういった憶測に気を取られることなく、11月の任期満了まで州政運営に専念されるのは間違いないといえます。

2 ミシガン州立大学ガスカウィッツ学長が退任

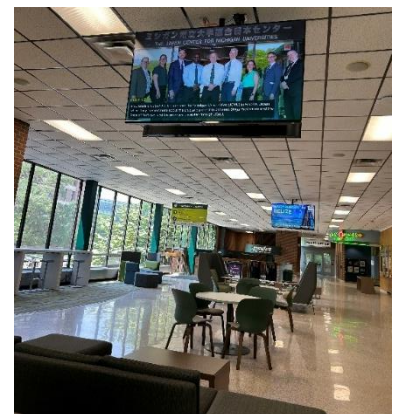
5月27日、ミシガン州立大学のガスカウィッツ学長が、就任からわずか2年半足らずで職を辞し、クレムソン大学の学長に就任するというニュースが駆け巡りました。

州都ランシングの隣、イーストランシング市にあるミシガン州立大学は、17学部、400を超える専攻をもつ総合大学です。JCMUの学生リクルート等を担うオフィスがあり、滋賀県とも深い関係を有しています。

報道によると、ガスカウィッツ学長は、理事会で、年間の基本給を200万ドルとする100万ドルの昇給が理事会で可決されたにも関わらず、その数日後に退任を表明。退任にあたってのメッセージの中で、ガスカウィッツ学長は理事会内部における「意見の相違」に言及、「時に、私たちは目の前に広がる機会や目指すべき理想に集中するよりも、過去の対立や内部の意見の不一致を蒸し返すことに、あまりにも多くのエネルギーを費やしてしまっていました。」とコメントされています。

ホイットマー州知事は、声明の中で「今回の結果は残念なことですが、一部の理事たちが見せてきた一連の振る舞いを踏まえれば、誰も驚くべきことではないでしょう」「ミシガン州は今、極めて重要な局面に直面しています。ミシガン州立大学とミシガン大学の双方が、指導部の交代という重大な過渡期を迎えているからです。私は両大学の動向を注視していくつもりです。」と述べています。

この背景にあるのは、理事の選出方法です。通常、州立大学の理事メンバーは、州知事が任命し、州政府と州立大学の間での対立が避けられる仕組みになっていることが多いですが、ミシガン州はアメリカの他の多くの州と異なり、州憲法によって州立大学に大きな自治権が保障されており、大規模な州立大学であるミシガン大学、ミシガン州立大学、ウエイン州立大学の3大学の理事メンバーは、他の州立大学と異なり州民の選挙で選ばれており、任命制と比べて政治的な影響を受けやすくなっています。



学長のJCMU訪問を報じる同大学内のモニター

ガスカウイツツ学長は、昨年 5 月、訪日の際に東京から足を延ばし、彦根市の JCMU を視察されています。同年 10 月に同大学国際学部内に開所した、グローバルラーニング&イノベーションセンターも、自らが開所を主導されたそうです。JCMUもその傘下であり、開所式のスピーチでは、「JCMU を訪問し、JCMUが本大学にいかに関与があるかがわかり、感銘を受けた。」とコメントされており、短い任期ではあったものの、滋賀県との関わりに多大なる支援を寄せてくださっていただけに、退任は惜しまれます。